

なかとんべつ 町議会だより

Volume

222

令和5年4月25日発行

4月3日
認定こども園入園式



4月7日
小学校入学式

4月7日
中学校入学式



| | |
|--------------------|----|
| 第1回定例会議決結果の一覧 | 3 |
| 私たちの一般質問 | 4 |
| いきいきふるさと常任委員会報告 | 8 |
| 議案審議のあらまし | 10 |
| 令和4年度予算の内容 | 12 |
| 予算審査特別委員会 | 14 |
| 第1回、第2回臨時会結果 | 15 |
| 議員の活動実績・議会の動き・あしがき | 16 |

令和5年 第1回会 定例



令和5年第1回定例会が、3月2日から10日まで9日間の会期で開かれました。

招集日の3月2日には、諸般の報告、行政報告後に中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例案をいき



行政報告をする小林町長

いきふるさと常任委員会（宮崎泰宗委員長）に審査を付託、再開された本会議で原案どおり可決し、条例（一部改正含む）、令和4年度補正予算など18議案を3月3日に渡り開催し、原案どおり可決し散会しました。

3月8日には、相座教育長が令和5年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて5名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。



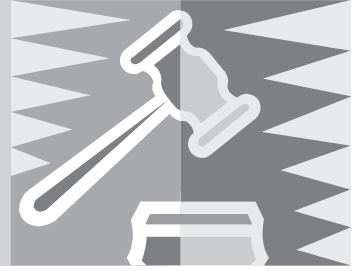
教育行政執行方針を表明する相座教育長

本会議休会中の3月9日～10日に令和5年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（西浦岩雄委員長）で審査。改選期のため政策的な経費を含まない骨格予算の委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月10日に閉会しました。

- ① 認知症施策の現状と対応について (細谷議員)
- ② カーボンニュートラルとマイクログリッド構築について (高橋議員)
- ③ 醸造用ブドウ栽培の商用化に向けての体制づくりについて (星川議員)
- ④ 南宗谷福祉会老人ホーム長寿園について (東海林議員)
- ⑤ 義務教育学校「中頓別学園」設立について (宮崎議員)
- ⑥ デイサービスの町移管について (東海林議員)
- ⑦ 35億円の学校建設について (宮崎議員)

5議員が一般質問

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

- 議案第3号 職員定数条例（一部改正）
- 議案第4号 職員の旅費に関する条例（一部改正）
- 議案第5号 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（一部改正）
- 議案第6号 情報公開条例（一部改正）
- 議案第7号 個人情報保護に関する法律施行条例
- 議案第8号 情報公開・個人情報保護審査会条例
- 議案第9号 いきいきふるさと推進条例（一部改正）
- 議案第10号 在宅介護サービス事業所設置条例
- 議案第11号 不妊及び不育症治療費等助成に関する条例（一部改正）
- 議案第12号 令和4年度一般会計補正予算
- 議案第13号 令和4年度自動車学校事業特別会計補正予算
- 議案第14号 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算
- 議案第15号 令和4年度国民健康保険病院事業会計補正予算
- 議案第16号 令和4年度水道事業特別会計補正予算
- 議案第17号 令和4年度下水道事業特別会計補正予算
- 議案第18号 令和4年度介護保険事業特別会計補正予算
- 議案第19号 令和4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

○ 発委第1号 議会個人情報保護条例

・ 議員提出議案は発議、委員会提出議案は発委となりますので、議会個人情報保護条例案は議会運営委員会（長谷川克弘委員長）から提出されましたので発委となっています。

※ ○ は原案可決



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

ここが聞きたい、
知りたい

私たちの一般質問

第1回定例会は、教育長が令和5年度における教育行政執行方針を表明。
5議員が一般質問を行いました。

細谷久雄 議員



質問

認知症施策の現状と対応について

今後、認知症の方やその家族を地域・行政がどのように支えていくか考えなければならぬ時期が来ていると思います。その実現の立場から、次の3点について町長の見解を伺います。

- ① 認知症施策全般の現状と対応は。
- ② 認知症の方の家族への支援や取組みは。
- ③ 認知症の方が住み慣れた地域で生活を続けていくための対策及び対応は。

答弁 ○小林町長

① 認知症への理解を深めるための普及啓発に、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援するボランティアを養成しています。

また、認知症地域支援推進員を配置し、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関との連携や、認知症の人やその家族を支援する相談業務などを行っています。

② 認知症地域支援推進員を中心に個別訪問や家庭訪問を行い、当事者や家族の相談支援を行っています。

また、「なかとんカフェ」を開催し、認知症の人とその家族が地域で孤立することを防ぎ、認知症についての地域住民の理解を深め、認知症の人と家族を支える地域づくりを行っております。

③ 認知症ケアの基本は当事者との関係性づくりです。認知症地域支援推進員や地域包括支援センター職員が訪問を重ね、本人やご家族の思いを聞き関係性を構築していきます。

高橋憲一 議員



質問

カーボンニュートラルとマイクログリッド構築について

町はこの度、ゼロカーボンシティ宣言をしたわけですが、私はカーボンニュートラルとマイクログリッドという考えが重要かと考えます。CO2の排出と吸収については中頓別町は一割程度の削減で均衡が取れると考えます。あえてカーボンゼロとした理由をお聞かせ下さい。

マイクログリッドとは地域エネルギーの自立、エネルギーの地産地消を目的に災害に強い地域づくりとして国も支援に乗り出しています。町のお考えがあればお聞かせください。

答弁 ○小林町長

環境基本計画に合わせて2050年にゼロカーボンシティ宣言を表明しました。より踏み込んだ取り組みとして地球温暖化に寄与するものとしてCO2削減を目指すものです。再生エネルギーの導入により、発電した電力を地域で消費していくことは重要だと考えますが、送配電の仕組みや経済性の面で課題があると認識しています。情報収集に努めながらどのような仕組みが構築できるか検討してまいります。

質問

醸造用ブドウ栽培の商用化に向けた体制づくりについて

醸造用ブドウ栽培は試験期間を経て令和5年度から商用圃場設置に取り組みわけですが、今後長期にわたって栽培管理に取り組み担い手の確保、育成についてどのように取り組む考えかお聞かせ下さい。

答弁 ○小林町長

6年間の試験栽培を通して、「遅霜等の対策は必要ですが、耐寒性の強い品種であれば、ワイン醸造に適した品質のブドウ収穫が可能」と判断して、令和5年度からの商用栽培を開始することとしました。

事業を進めるには中心的役割を担う人材の確保が重要であるとの認識はしています。新たな地域おこし協力隊の任用や、町担当者とともに事業推進の中心的な役割を担って欲しいと考えています。

栽培当初から協力いただいている地権者の方や、関係機関、また昨年設立した「中頓別町ブドウ研究準備会」を基盤にした地域全体でのブドウ栽培事業推進に取り組んでまいります。

星川 三喜男 議員



質問

南宗谷福祉会老人ホーム長寿園について

老人ホーム長寿園は、町民が中頓別町で生涯安心して暮らす意味でも非常に重要な施設であります。

また、今定例会の補正予算でも運営補助金を追加していることから、町にとってもなくてはならない施設であると考えています。

先日、老人ホーム長寿園の施設長が3月末で退職するとお聞きしましたが、町長としてどのように考えているかお伺いします。

また、今後の支援策など現時点でどのように考えているかお伺いします。

答弁 ○小林町長

厳しい施設運営が続く状況の中、利

用者や職員のみなさんが動揺することがないように対応していく必要があるとともに、「医療介護に従事する職員が、やりがいのある職場をつくること」が大切だと考えています。

法人への支援では、施設整備のほとんどや人材育成・確保など手厚く支援してきていると認識しており、今後も施設を運営していくうえで、町から一定程度の支援が必要だと認識しております。

また、令和5年2月14日付けで南宗谷福祉会理事長から町に施設長としての派遣の依頼がありましたので、町としても今後、法人とのつながりを密接に行うためにも、町から施設長として職員を派遣する方向で検討していきたいと考えます。

東海林 繁幸 議員



質問

義務教育学校「中頓別学園」設立について

この件に関して、次の事項について伺います。

- ① 設立の意図、今後の設立日程について改めて確認をいたします。
- ② 設置予定場所、施設規模は確定したのですか。
- ③ 設立のための財源確保について見通しを伺います。
- ④ 運営指導のための人材配置と、宗谷管内初めての学校として、教育職員の人材確保をどうすべきか考えを伺います。
- ⑤ 設立構想でユニークなのは「こども園」をも関連付けたことにあると感じます。「こども」「職員」「施設」の係わりを具体的に考えを伺います。
- ⑥ 中頓別学園はコミュニティスクールの理念があり、町民との係わりが重要となりますが、町民の理解を得る為の方策と広報活動の考えを伺います。

答弁 ○相座教育長

① 設立の目的は、幼少中一貫教育の実現に向けて、小学校と中学校を統合して9年間の義務教育学校と、こども

園との連携した教育体制の確立、充実を図ることを目的としております。

令和8年の開校を予定しており、基本計画の策定、基本設計等を実施していくとともに、運営面での体制の確立、教育理念等を行うことで開校、設立に向けて万全を期していく考えであります。

②設置場所については、基本構想の中で小学校を改修し、小学校の校地に中学校部門を増築することが最適と判断しており、その方向で検討を重ねているところであります。

施設規模についても、同様に検討を行ってまいります。

③まず、負担金、補助金については文部科学省の負担金及び交付金を予定しており現在協議中であります。地方創生等の補助金の充当も検討し、補助金額の増額を目指していく方針であります。補助金充当後の財源としましては、過疎対策事業債の充当を考えております。

補助金、地方債の対象経費とならない一般財源については、基金の組み換え等により確保することと計画しており、合わせて寄付金等を募ることにより町財政へ影響する額を減少していく考えであります。

④義務教育学校部分は、道教委配置による校長が位置づきますが、その上に統括校長を置き、こども園を包括し

た運営体制を整備します。

この学校は、宗谷管内でも先端を行う教育になると考えています。教育局にも、強くお願いして優れた教育が中頓別町から発信できるような優秀な人材配置について要望していこうと思っております。

⑤一貫教育の柱である「森のこども園」に代表される自然教育や英語教育を中心に、合同学習、合同授業なども展開できるものと考えています。

指導に関しても、教員の相互乗り入れ授業などが柔軟に取り組めるようになると考えております。

⑥中頓別学園は、単に子どものためだけの学校ではなく「人生100年の学びの拠点」です。多くの町民の皆さんに学園に足を運んでもらい、豊かな時間を過ごしていただくことが最も大きな広報活動になると考えております。



質問

ディサービスの町移管について

この件に関して、次の事項について伺います。

- ①移管すべく主たる要因を伺います。
- ②移管により何が改善されますか。
- ③4名の職員が町職員となりますが選任する根拠の町としての考えを伺います。
- ④長寿園の移管もすべきとの考えもありませんが、町として今後の施設のあり方をどう考えますか。

答弁 ○小林町長

①地域医療・地域包括ケアの一体的な改革を進めていく中で、重要となる在宅サービスを再構築し拡充を図っていくためと考えております。在宅事業は利用者数が減ってきており、その立て直しが急務と考えています。

②営業日週5日から週6日へ変更するのに伴い、家族の介護負担軽減などを図っていかると考えています。

また、ディサービスのプログラムの充実を図ること、その重要性や楽しさを広めていきます。

③現在働いている方を優先し、介護福祉士の資格を有している職員の方で、今までの経験を活かしていただける方

自立支援を行う事業所として自身の資質向上に努め、業務を遂行していただけるかどうかを確認し判断したところであります。

④町にとっては無くすわけにはいかない重要な施設であるため、要請のあった職員の派遣を行うとともに今後の施設の運営主体も含め、将来的な施設のあり方について検討していきたいと考えています。

宮崎泰宗 議員



質問

35億円の学校建設について

令和8年の開校を目指すとして、義務教育学校・中頓別学園の建設事業が始まった。想定される総工費は35億円前後とされており、これまでにない高額な予算を要することになるわけだが、

利用する生徒数の推移など、人口1,500人台となり、今後も減少が見込まれている本町にとつての必要性、町民に理解される学校づくりの進め方についてはいかがお考えか。

当事者意識が比較的高いと思われる父母向けのアンケートの回収率が50%台となっているが、全町民向けアンケートの実施など、町民の皆さんにもつと関心を持っていただける取り組みが必要ではないか。

また、今回の学校建設だけで20億円以上の借金をすることになると思うが、交付税措置されないそのうちの3割、6億円以上の実質的な返済について、短期間で積み立てる基金によって賄うとされており、建設時の多額な町費負担に加え、一定期間の世代だけに億単位の貯金まで求めるのは、町民負担の在り方として不公平である。

返済分については、実際に施設を永く利用していく将来の世代も含め、基金についても返済のためだけでなく、長期的かつ公平な額を負担し、老朽化した周辺施設などの今後にも対応できるものとしてはいかがか。

答 弁 ○相座教育長

これまでの間、学校づくりに関する町民向け学習会やワークショップ、父母向けのアンケートの実施、学校づくり展覧会の開催など、多くの町民の方

々に関わっていただく取り組みを経て基本構想を策定し、その説明会や設計業者の公開選考会、ワークショップ等による継続した意見集約、これらに関する広報での町民周知も行ってきていることから、町民の関心につながる機会の拡充は図られていると考える。こども園、小学校、中学校の保護者アンケートの状況についても低調とは考えず、半数を超える貴重な回答をいただき、未回収の部分についても、学校に対する信頼の意思が反映された結果であると認識している。

学校建設の必要性については、中頓別中学校の老朽化が喫緊の課題と認識しており、時期を大きく遅らせることは難しいという判断から、令和8年の開校を目指していく。

生徒数の今後の推移を的確に捉えて学校規模の設定を行うとともに、近年の建築価格の高騰を考慮した工事実施時期の設定、さらには補助金、地方債の有効活用による財源の確保に努めていくことで、町民負担の軽減を図っていきたいと考えている。

答 弁 ○小林町長

今回の学校建設における基金積み立ての考え方として、現世代だけで将来の負担をするような形になるということとは、ご指摘のとおりであるが、過去の経験から将来の交付税に対する不安

や余裕のない財政状況を考慮し、起債の償還開始時期として想定される令和10年度までに可能な限りの財源を準備することで、実質公債費比率を維持するなど、行政サービスの低下を招く見直しが必要となるような財政数値の変動を抑える対応と考えている。



老朽化が進んでいる中頓別中学校

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



いきいきふるさと常任委員会の様子（1月31日）

いきいきふるさと常任委員会（宮崎泰宗委員長）は、所管事務調査（1月31日、3月8日）及び付託審査（3月2日）を実施し、第1回定例会（3月2日）及び第2回臨時会（3月31日）に報告しました。

いきいきふるさと 常任委員会報告

（1月31日）
（3月2日）
（3月8日）



町内工事視察の様子（介護医療院）

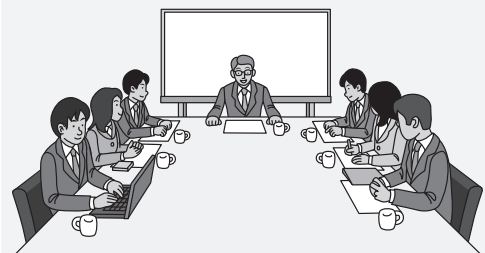


こども園サービスハウス

調査事項

1月31日

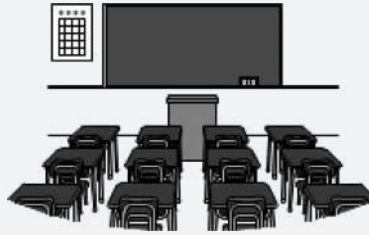
- ① 中頓別学園整備事業について
- ② 中頓別町観光施設再整備基本計画について
- ③ 地域医療提供体制について
- ④ 町内工事視察について
 - ・ 除雪センター
 - ・ こども園サービスハウス
 - ・ 介護医療院
 - ・ マイクロバス車庫
 - ・ 旧松田商店



【調査意見】

①義務教育学校（中頓別学園）の建設事業については、今年5月に開校される総事業費約35億円の安平町立早来学園を直近の道内先進事例として視察なども行われており、本町でも予算規模としては同程度を想定しているとのことであるが、生徒数、人口規模、出生数（子どもの人数の将来予測）、早来学園は大規模な建築物の新築であり、中頓別学園の建設は基本的には改修であるなどの比較により総工費等で同程度になり得る根拠、人口減少が進み子どもの人数の減少も続いている中、学校施設だけでそれだけの費用をかける必要性の説明においても十分とは言えない。

今後の計画策定、設計、予算立て、執行の判断をする上においても、多くの町民の理解が必要であると考える。



②観光利用としては、コテージ、キャンプ場など道の駅側の施設では工夫や集客の改善が見られるが、特にピンネシリ温泉は手つかずの状況であり、食事の提供など、機能としては単に低下した状態とも言える。

高額な予算を投じ作成した観光施設再整備基本計画など、これまでの調査等が無駄にならないよう、方向性をより明確に提示していただきたい。

③地域医療提供体制見直しの一環として開設

された介護医療院の利用状況に加え、これまで長寿園（南宗谷福祉会）に委託してきたデイサービスと訪問介護の在宅サービス事業についても、今年4月から運営を町へ移管し町直営とすることが示されたが、新年度からの運営体制変更に対する情報提供の時期として時間的に不十分であり、法人にとっても有益な事業であれば運営を手放す必要もないわけであるから、移管せざるを得ない要因等について、直営で事業を維持することによる町民負担の著しい増加とならぬよう、今後の運営に活かされることを望む。



④町内工事視察では、特に新設された除雪センターの構造について、本委員会や今年度予算で示されていた内容と大きく異なっている点があり、仮眠できる休憩室部分など各部屋の用途も明確になっていない印象を受けた。建て替えの目的であった作業員の利便性や作業効率の向上に繋がる使い方ができているか見直す必要があると考え、その他未完成の施設や今後さらに改良等が加えられる部分については再度視察する機会を設けさせていただくが、大きな変更等が生じる場合の事前の説明や変更後の報告の在り方についても適切な対応を求める。

【調査事項】

3月2日

中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について

【審査意見】

在宅事業を町に移管することによって、どのように利用者の増加及び在宅サービスの充実に繋がるのか明確になっていない印象を受ける。今後の運営に当たっては、利用時間の延長、土曜日の営業など町に移管されることによるメリットを活かし、より充実した在宅サービスの提供を住民にお知らせするとともに利用者の増加が図られることを望む。

【調査事項】

3月8日

新たな学校づくり整備事業について

【調査意見】

今回の調査では、費用面などから最も現実的とされる、現在の町民センターを解体し、改修が施される小学校と一体になる形で新築するという案を基本として進めていくとの長側の意向について確認されたが、学校、町民センター、共有部分、施設全体の使い方、防犯や利用者の利便性を考慮した建物内部の配置等についても、考えをより明確に示した上で意見聴取などの機会が設けられることを望む。

施設全体を生涯学習センターとする新たな学校づくり、町民センターづくりが今後においても多くの町民の声が反映され進められていくことを改めて求めるところであり、進捗状況の情報提供、継続的な調査が必要であると考える。

議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など18議案を審議しました。

令和5年度各会計予算は、予算審査特別委員会（西浦若雄委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

令和4年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月2日・3日議決

○議案第3号 職員定数条例（一部改正）

町長部局の職員定数を103名から3名減の100名に、教育委員会部局の職員定数を17名から3名増の20名に変更を行うもの。

○議案第4号 職員の旅費に関する条例（一部改正）

職員の派遣等に伴う移転料につきましては、現実の移転料との乖離が甚だしく、職員負担を伴うものになつてきたことから改正を行うもの。

○議案第5号 町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（一部改正）

公職選挙法施行令及び公職選挙法施行規則の改正により、選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を改正するもの。

○議案第6号 情報公開条例（一部改正）

令和5年4月から個人情報保護法が地方公共団体に適用されることに伴い、行政文書の定義について、個人情報保護法と同様の規定となるよう改正するもの。

○議案第7号 個人情報の保護に関する法律施行条例

個人情報保護法が改正され、現在の個人情報保護条例を廃止し、規定を整理の上、新法による適切な運用のため、新たな個人情報の保護に関する法施行条例を策定し、条例に委任された事項等を定め制定。

○議案第8号 情報公開・個人情報保護審査会条例

個人情報保護に関する法律が改正され、現行の個人情報保護審査会などについて見直すこととなることに伴い、中頓別町情報公開審査会及び個人情報保護審査会を統合し、中

頓別町情報公開・個人情報保護審査会として設置するため、条例を制定。

○議案第9号 いきいきふるさと推進条例（一部改正）

住民の定住化と本町の豊かさを分かち合うあたかいまちづくりを推進していくために令和10年3月31日まで期限を延長するもの。

○議案第10号 在宅介護サービス事業所設置条例

2024年の介護保険法の改正で、地域密着型通所介護と訪問介護の複合型サービスに変更になることを見据え、南宗谷福祉会で運営しているデイサービス事業所及び訪問介護事業所を町に移管し、在宅事業を展開していきながら事業内容の充実を図り、高齢者のニーズに的確に捉えたサービスを提供できる体制の構築に向けて制定。

○議案第11号 不妊及び不育症治療費等助成に関する条例（一部改正）

健全な子どもの誕生を希望する町民に対し、治療のために遠方の医療機関へ通院する際の身体的・精神的・経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育むことができるよう支援を拡充するため改正するもの。

○議案第12号 令和4年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ2千875万円を減額し、予算の総額は4億9千261万円に。

決算見込に基づき追加、減額のほか、国保病院に対する繰出金5千762万円を追加して総額3億2千620万円に。基金費では、地域活性化基金費に1億7千952万円を積み立て、基金費積み立て総額を1億9千958万円とするもの。

○議案第13号 令和4年度自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ158万円を追加し、予算の総額は5千644万円に。

歳出では、決算見込に基づき追加、減額。歳入の使用料では、教習生の減により授業料を減額して、総額2千363万円とするもの。

○議案第14号 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ38万円を追加し、予算の総額は1億9千742万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

議案第15号 令和4年度国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて2千961万円を減額。一般会計繰入金として7千7万円を追加し、繰入金総額3億4千558万円に。予算総額は5億8千788万円に。支出は、決算見込に基づく追加、減額するもの。

議案第16号 令和4年度水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ2千369万円を減額し、予算の総額は4億2千400万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

議案第17号 令和4年度下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ1千658万円を減額し、予算の総額は2億77万円に。決算見込に基づき、委託料、工事請負費等を減額するもの。

議案第18号 令和4年度介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額に変更はありませんが、歳出予算の保険給付費を組み換えるもの。

議案第19号 令和4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ99万円を減額し、予算の総額は3千289万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

『聴覚情報処理障害とは』

耳寄りの話でもないが、私の「耳の話」をしたいと思います。



「耳が悪い」「聞こえない」「音が悪い」というか「声や音が聞こえても、何を言ったのか理解できない」「聞こえているのに、聞き取れない」これを「聴覚情報処理障害」と言うそうです。耳の検査には2種類あり、一般的には音が聞こえているかどうか、低温から高温までヘッドホンで聞きます。もう一つは「あ」「き」「て」とか20個の単音節を聞き、何個正解したかを%で表す語音聴力検査です。私はいつも40%位間違っていました。文章でいうと40%も違う言葉に置き換えたら、文章でなく

なる、何を言っているのか分からないということになります。雑音もなくヘッドホンで聞いて40%ですから、雑音、騒音ある所では当然それ以上となりますよね。また、私は耳鳴りがひどく、常時工場の中にいるか、滝つぼの傍にいます。聴覚情報処理障害を診てくれる病院（耳鼻咽喉科）は北海道にはないようです。私は4年前から周囲の人に公表し、理解を求めてきましたが、やはり逆効果でなかなか会話にも入れなく、相手方も敬遠するようになり、段々コミュニケーションが取れなくなってきました。何度も聞き返したりして、周囲の方をイライラさせたり、迷惑をかけていることを心苦しく思っておりますが、そのような環境に置かれて自分にもう耐えられない心境です。

しかし、これからはいろいろな障害を持った人でも議員になれる時世でもあり、わが議会もそういうことにも対応できる、配慮できる、人にやさしい議会として改革していく必要があるかもしれませんね。AIの発展により同時通訳のように、音声を即座に文章化（映像化）して見ることが出来るようになりました。役場のロビーにある傍聴者用のテレビで見られるようになったらいいですね。

私は37歳で議員になり、以来10期40年間、皆さんのご支援ご協力を頂きましたことに対して心から感謝とお礼を申し上げます。

（綴人 村山 義明）

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**
又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel6-2244（議会事務局）へ。

令和5年度 8会計予算成立

～総額62億8,066万円～



予算審査特別委員会（西浦岩雄委員長）

一般会計をはじめとする令和5年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（西浦岩雄委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月9日～10日に審査を行い、原案可決。
10日に再開された本会議で西浦委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

令和5年度予算編成内容

本年度の予算総額は、62億8,066万円で前年度比2億4,738万円（4.1%）の増額となりました。一般会計は、前年度比2億4,196万円（5.7%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は町債借入れの増加に伴う公債費の増などを踏まえ、前年度比1,696万円の増額としています。国庫支出金では、道路橋梁費補助金の増などにより、857万円の増額、繰入金では、公共施設整備等基金繰入金や未来を担うこどもの健全育成と教育の基金繰入金の増などにより7,570万円の増額、町債では、過疎対策事業債の増により1億144万円の増額となっています。

歳出では、新規採用などによる職員の増などにより1,391万円増額、物件費では、地域再エネ導入戦略策定支援事業の完了や歯科診療所業務委託内容の見直しによる委託料の減などにより1,240万円減額となりました。補助費及び繰出金では、南宗谷福祉会にて運営しているデイサービス事業及び訪問介護サービス事業を令和5年度から町へ移管することなどにより、補助費が8,515万円の減額、繰出金が2,184万円の増額となりました。

財政健全化に向け努力しておりますが、近年、町債の借入れが増加傾向にあるとともに、収入の多くを占める地方交付税については依然不透明な部分が多く、今後も財源確保が困難になることが予想されます。予算執行にあたっては行政サービスを低下させることなく、効率の追求などを行いながら収支均衡に向け最大限努力してまいります。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

| 会計別 | 年度別 | 令和5年度 予算額 | 平成4年度 予算額 | 比較 | |
|------------------|----------------|--------------|--------------|----------|-------|
| | | | | 金額 | 率% |
| 一般会計 | | 45億1,812 | 42億7,616 | 2億4,196 | 5.7 |
| 自動車学校事業特別会計 | | 6,599 | 5,424 | 1,175 | 21.7 |
| 国民健康保険事業特別会計 | | 1億8,925 | 1億9,688 | ▲763 | ▲3.9 |
| 国民健康保険 病院事業会計 | 収益的収支 | 6億4,477 | 5億6,857 | 7,620 | 13.4 |
| | 資本的収支 | 1,103 | 2,463 | ▲1,360 | ▲55.2 |
| 水道事業特別会計 | | 4億2,345 | 4億4,649 | ▲2,304 | ▲5.2 |
| 下水道事業特別会計 | | 9,948 | 2億1,734 | ▲1億1,786 | ▲54.2 |
| 介護保険事業 特別会計 | 保険事業勘定 | 2億2,982 | 2億1,489 | 1,493 | 6.9 |
| | 介護サービス 事業勘定 | 6,338 | | 6,338 | |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | | 3,537 | 3,408 | 129 | 3.8 |
| 合計 | | 62億8,066 | 60億3,328 | 2億4,738 | 4.1 |

■一般会計

歳入

(単位：万円)

| 款 | 5年度 | 4年度 | 比較 | 増減% |
|--------|---------|---------|--------|-------|
| 町税 | 16,549 | 16,453 | 96 | 0.6 |
| 地方譲与税 | 7,117 | 6,397 | 720 | 10.1 |
| 地方交付税 | 216,189 | 214,493 | 1,696 | 0.8 |
| 使用料手数料 | 7,503 | 8,529 | ▲1,026 | ▲13.7 |
| 国庫支出金 | 57,621 | 56,764 | 857 | 1.5 |
| 道支出金 | 16,440 | 15,393 | 1,047 | 6.4 |
| 財産収入 | 1,377 | 1,014 | 363 | 26.4 |
| 繰入金 | 36,161 | 28,591 | 7,570 | 20.9 |
| 諸収入 | 6,252 | 5,412 | 840 | 13.4 |
| 町債 | 79,200 | 69,056 | 10,144 | 12.8 |
| その他 | 7,403 | 5,514 | 1,889 | 25.5 |
| 合計 | 451,812 | 427,616 | 24,196 | 5.4 |



歳出

(単位：万円)

| 款 | 5年度 | 4年度 | 比較 | 増減% |
|--------|---------|---------|---------|-------|
| 議会費 | 4,983 | 4,997 | ▲14 | ▲0.3 |
| 総務費 | 75,198 | 86,002 | ▲10,804 | ▲14.4 |
| 民生費 | 49,633 | 44,197 | 5,436 | 11.0 |
| 衛生費 | 44,966 | 42,838 | 2,128 | 4.7 |
| 労働費 | 6 | 6 | 0 | 0 |
| 農林水産業費 | 39,249 | 33,722 | 5,527 | 14.1 |
| 商工費 | 13,015 | 11,900 | 1,115 | 8.6 |
| 土木費 | 86,608 | 78,587 | 8,021 | 9.3 |
| 消防費 | 13,980 | 13,951 | 29 | 0.2 |
| 教育費 | 35,251 | 25,645 | 9,606 | 27.3 |
| 公債費 | 52,881 | 50,378 | 2,503 | 4.7 |
| 諸支出金 | 35,992 | 35,343 | 649 | 1.8 |
| その他 | 50 | 50 | 0 | 0 |
| 合計 | 451,812 | 427,616 | 24,196 | 9.0 |



予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

| 科目・会計 | 臨時事業名 | 事業費 | 主な事業内容 |
|--------|------------------------|--------|------------------------------------|
| 総務費 | コモンズ形成事業 | 1,934 | 地方創生推進事業（推進協議会運営、共助の仕組み構築など） |
| 民生費 | 認定こども園事業 | 13,000 | 園庭整備（遊具設置など） |
| 農林水産業費 | 道営草地整備型公共牧場整備事業 | 13,557 | 参加者負担金 |
| 商工費 | ピンネシリ温泉運営事業 | 3,313 | 指定管理料、施設維持管理委託料 |
| | なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業 | 1,786 | なかとんべつ観光まちづくりビューロー事業補助、地域おこし協力隊負担金 |
| 土木費 | 除排雪事業 | 6,000 | 除雪トラック専用車購入 |
| | 中頓別弥生線交付金事業 | 42,000 | 一己内橋の架換負担金 |
| | 秋田原野線交付金事業 | 14,010 | 実測調査設計委託、延長 350m |
| 教育費 | 中頓別学園整備事業 | 8,452 | ワークショップ運営委託、用水路改変工事、基本設計委託 |

予算審査特別委員会

主な質疑&答弁

○一般会計

歳出

■民生費

問 新型コロナウイルスの関係で、今月13日からマスクの着用が個人の判断に委ねられると思います。町としては今後どのような対応を考えておられるか伺います。

(宮崎委員)

答 3月13日から個人の判断によって、高齢者が集まるなどの所以以外は、マスクはしなくても良いとなりますが、町としましては、今後、新型コロナウイルス感染症対策会議を開いて役場の中をどうするか。町民の皆さんにどう周知していくか。マスクの着用について検討を進めていくことになっていきます。

(保健福祉課主幹)

問 マスクの着用の自由化は、5月8日から新型コロナウイルスが今の2類相当から5類引き下げに先駆けたものだと思いますけど、町としての対応は5類引き下げ以降、どのようになるかこの点についても伺いたいと思います。(宮崎委員)

答 2類から5類についてはまだ確定してはいませんが、新型コロナウイルスについては方向性が示されておりまして、まず子どものワクチン接種はワクチン接種の期間が短いということでも今後変わらずに継続することになっています。12歳以上の接種につきましては、ハイリスクの方たちは5月から8月までに打っていく。それ以外の方は、9月以降秋に向けて接種を進めていく方向性は定まっ

てきています。ただし、今までと同様ではなくて、今年1年は国費で賄われますが、先ほど言いましたハイリスクの方たちは努力義務によりお勧めをして、それ以外の方については、努力義務は解かれますので、打つ打たないは個人の判断になる方向で検討が進められています。

(保健福祉課主幹)

■農林水産業費

問 ワイン醸造用ブドウの関係で、これまでは実証試験でしたが、新年度から本格的な取り組みで予算的にもこれまでと比較すると大きな設備投資が計上されています。6次産業化の推進においては、今後ブドウ、ワイン一本で進められていくのか。並行して他の作物についての可能性はないのか伺います。(宮崎委員)

答 6次産業化については、なかとん牛乳の製造販売に付加されたアイスの製造も同時並行で進めているところではありますが、色んなものに手を広げても人員を含めて難しいところがあると感じています。

問 今現在としては、ブドウの栽培に注力していきたいのと、一方で昨年「オガル」のほうに試験的に、ハスカップの木を無償提供で頂いております。そういうものも活用できると考えておりますし、農園も昨年からカボチャを植えたり、今年は大豆は植えたいと希望もあったり、小さくですがやっていけると考えています。

(産業課長)

問

森林整備費のカーボンニュートラルについて、どこまで整備すればカーボンニュートラルの対象となる森林としてカウントされるのか伺いたい。

(東海林委員)

答

町が考えているカーボンニュートラルは、森林整備によるCO2の吸収をカーボンゼロを達成しようというのが基本的な考え方にあります。基本的には、人間の生活活動、産業活動から排出されるCO2を再生可能エネルギーなどによって吸収すると、排出ゼロという形にカウントしようというのが基本的な考え方で、これは本町だけではなく、市町村が取り組むカーボンゼロの考え方として認識しております。

(小林町長)

問

ブドウのことですが、今課長の説明で4年かけて2,000本と言っていましたけれども、その後どうするのか。今の産業課の職員、新年度1人募集していますが、2、3人の職員では最終的に対応できないと思いますし、どこかの企業にある程度用途がつけばお願いするなど、そういう方向性は現時点で考えているのかお聞きします。

(星川委員)

答

基本的には行政が抱えていくのは、コストのことも考えて効率的ではないと思います。ただ、商業園場に向かって展開しつつも、いろいろ試行錯誤しながらやっていかなければならない。単に技術だけでなく、自然を相手にした経験、そういうものも蓄積していく段階と考えてい

ます。本来であればその先は、ブドウ栽培したい農家が出てきたり、醸造したい方がワイナリーを構えていくことが望ましい姿と認識を持って、今後もこの事業については当面行政がしっかり役割を担って進めていきたいと考えております。

(小林町長)

■消防費

問 中頓別支署定員が15名でしたが、ずっとこれまで2名から1名の定員は欠員となっていました。ここへきて初めて15名の定員が満たされることで、本当に良かったと思います。

答 ところで一方、来年度1名の支署職員を組合本部に派遣交流となっております。折角1名増えて定員を満たしたのですが、やはり14名体制でやらざるを得ない。この件について、町長は何か補完することを考えていますか。

(東海林委員)

答 今後職員体制15名を確保していく考え方に立っているわけではありません。そこは今後の検討だと思っています。定員は15名で、ずっと欠員になっていましたけれども、これは財政的な課題があると思っています。

消防常備の職員の士気や災害課題も多くなっている中で、スキルを高めて人を育てていくことが強く求められ、それを達成していけるような常備の体制を考えていかなければと思っています。

今後の財政状況を踏まえた上で、この2年間で判断をしていきたいと考えているところであります。

(小林町長)

■教育費

問 中頓別学園整備事業の中で、用水路改変実施工事請負費が出ています。提案論が町民センターを解体し、新たに町民センターの内容を加えた総合的な建設事業になると、今後町民センターを活用している団体等の皆さんとの意見調整もあるだろうし、解体するのか、修繕するのかまだ結論として出ていないはず。基本設計や建設場所が確定していない段階で、この工事の設計委託から請負費が当初予算から出るのはつじつまが合わないと思うのです。

答 当初予算でもう場所が決定したごとく、設計内容が分かったごとくここを始めてよろしいのかどうか疑問に思うので、お答えいただければと思います。

(東海林委員)

答 今進めている人生100年学びの拠点の場所の考え方、ここについては私としては昨年の3月にまとめた基本構想の中で一定程度の候補地を挙げていたこともあって、そこが念頭にありました。ただ、十分なコンセンサスを得ていなかったと配慮が足りなかったことは率直に認めたいと思います。少なくとも学校の建設、施設の建設がどうしても笹の川をまたぐ工事になることは想定されて、暗渠をどういう形にするのがいいか、その設計をするのは今やっている基本設計や実施設計段階でも検討しておく必要があるという認識があったので、当初計上を指示してきました。

(小林町長)

予算審査特別委員会

〔審査意見〕

介護サービスの新規事業等について、町民に利用しやすいように周知徹底し一般財源から持ち出しの少ない事業展開を求める。

第1回臨時会結果 (1月31日)

令和5年第1回臨時会が1月31日招集され、行政報告の他、

2議案を原案どおり可決しました。

○議案第1号 物品売買契約の締結

自動車学校のホイールローダー教習車購入にかかる契約の締結。

○議案第2号 一般会計補正予算

歳入歳出に452万円を追加し、総額45億2千137万円に。入浴施設燃料費高騰対策事業補助金、有害鳥獣捕獲報償費などを追加するもの。

第2回臨時会結果 (3月31日)

令和5年第2回臨時会が3月31日招集され、行政報告の他、

4議案を原案どおり可決しました。

○議案第29号 職員給与条例 (一部改正)

介護医療院の併設等により、医師の宿直業務に補助宿直業務を追加するもの。

○議案第30号 国民健康保険税条例 (一部改正)

国民健康保険法施行令等の一部改正に伴い、賦課算定方式の変更について改正するもの。

○議案第31号 一般会計補正予算

歳入歳出に変更はありませんが、水道事業特別会計繰出金などを追加し、職員給料及び共済費を減額するもの。

○議案第32号 水道事業特別会計補正予算

歳入歳出に190万円を追加し、総額4億2千591万円に。漏水による修繕費及び漏水管路調査委託料などを追加するもの。

議会の動き

令和5年

1月

- 28日 第38回北緯45度しばれまつり
- 31日 第1回臨時会、いきいきふるさと常任委員会

2月

- 16日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会

3月

- 2日 第1回定例会
いきいきふるさと常任委員会
全員協議会
- 3日 第1回定例会
全員協議会
- 8日 第1回定例会、予算審査特別委員会
- 9日 予算審査特別委員会
- 10日 予算審査特別委員会、第1回定例会
- 17日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）
- 31日 第2回臨時会、議員会による懇談会

4月

- 1日 デイサービスセンター及び訪問介護事業所開所式
自治記念式
- 3日 議会広報編集特別委員会
- 7日 議会広報編集特別委員会
- 14日 議会広報編集特別委員会



デイサービスセンター及び訪問介護事業所開所式（4月1日）

議員の活動実績と一般質問回数

（令和4年4月～令和5年3月）

| 議員名 | 会議名 | | 各種委員会 | | 一般質問回数 |
|-------|---------|----|--------|------|--------|
| | 定例会・臨時会 | | 出席義務日数 | 出席日数 | |
| 高橋 憲一 | 16 | 16 | 18 | 18 | 4 |
| 長谷川克弘 | 16 | 16 | 27 | 26 | 1 |
| 西浦岩雄 | 16 | 16 | 19 | 17 | 0 |
| 宮崎泰宗 | 16 | 16 | 19 | 19 | 4 |
| 東海林繁幸 | 16 | 16 | 10 | 10 | 4 |
| 星川三喜男 | 16 | 16 | 10 | 10 | 3 |
| 細谷久雄 | 16 | 15 | 27 | 27 | 4 |
| 村山義明 | 16 | 15 | 19 | 18 | - |

（注1）議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）

（注2）各種委員会は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。

（注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。

（注4）一部事務組合議会議員（東海林議員、長谷川議員、宮崎議員、高橋議員）の日数は含まれていません。

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 〒098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通)
fax (01634) 6-1155

編集後記

もう少しで、桜の花が見ごろを迎える季節となります。本町でもたくさん桜が開花し、ピンク色の春景色を楽しませてくれます。

平和、いつまでも続いてほしいと願います。

しかし、世界には未だ紛争が起こっている地域があるのも事実であり、現在のウクライナのように、他国からの侵攻により、戦争に巻き込まれることもあり得ます。人ごとではないと日本人の多くが考えているのではないのでしょうか。戦争はやめてほしいと願っております。

さて、広報編集特別委員会では、これまでも議会だよりが町民の皆さんに、少しでも興味を持っていただき、目を通していただけるように限られた紙面の中で、表現の仕方を模索してきました。編集作業はいつも、毎回の議会の振り返りをしながら、和気あいあいとした、とても話しやすい雰囲気の中で行われています。

令和5年第1回定例会では、その新しい生活を支える予算を中心に審査しました。年間4回の各定例会には、それぞれの性格があります。当初予算の審査は格別の緊張感があります。

これが今任期中の最後の議会だよりになります。今後もさらに町民に愛される議会だよりが作られていくことと思います。

最後に、編集委員一同より、これまで議会だよりを読んでくださった町民の皆様様に改めて感謝し、編集後記をしめたいと思います。

議会広報編集特別委員会(細)